

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(11月17日～11月23日)

2020年11月27日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 国連人権理事会の普遍的・定期的レビュー(URP)第3ラウンドにてベラルーシに対し 266 の勧告を提示(11/17)
- 11月8日以降一時停止していたオストロヴェツ原発第一エネルギーブロック、再稼働開始(11/19)
- 北マケドニア、アイスランド、モンテネグロ、アルバニア、リヒテンシュタイン、ノルウェー及びウクライナが、EUによる対ベラルーシ制裁に合流(11/20)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●対外政策に関する会議に出席

(11/17 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ナゴルノカラバフについて、再び、旧ソ連圏で問題が発生した。我々の近しいパートナーであるアルメニアとアゼルバイジャンの間で、外交的観点における熱い紛争が繰り広げられている。民族的少数派が安全を感じる事が出来るまで未だ遠い。
- ・ベラルーシが経済的利益を有する中東、北アフリカにおいても依然戦争は停まらない。欧州においても、新型コロナウイルス感染拡大やイスラム教徒によるテロ活動に対する抗議の気運が懸念を呼んでいる。しかし、フランスやドイツ、その他欧州諸国は、自国の労働力不足により、イスラム教徒を受け入れたのであるから、彼らを尊重すべきである。イスラム教徒に問題があるのではなく、欧州で文明国家を管理している政府高官に問題がある。
- ・米国大統領選は、米国政府の将来の政策を明らかにしておらず、国際社会に曖昧さをもたらしている。
- ・ベラルーシは、大統領選挙終了後、他人の利益の対立の舞台となってしまった。この戦いにおいて、我々の利益はない。我々の国は、あからさまな攻撃の対象となってしまった。この状況下にあっても、我々は、海外のパートナーとの互惠的関係の強化に向けて動いている。ベラルーシは、常に、相互尊重、

誠実さ、秩序の原則を遵守する国々と協力する用意がある。

●政府高官の任命

(11/19 大統領公式ホームページ)

- ・アナトリー・マルケヴィチ文化大臣(大統領補佐官兼グロドノ州検査官)
- ・ユーリー・セニコ駐中国大使(国家税関委員会委員長)
- ・アンドレイ・ラフコフ駐アゼルバイジャン大使(元国防大臣、元国家安全保障会議国家書記)
- ・アレクサンドル・コニユク駐アルメニア大使(元検事総長)
- ・アンドレイ・メテリツァ駐パキスタン大使(外務省条約・法務総局長)
- ・パヴェル・ヴジャトキン駐ケニア(タンザニア、ウガンダ、エチオピア兼轄)大使(外務省対外経済局次長)

●ゴメリ農機工場(ゴムセリマシュ)を視察

(11/20 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・過去1年半の間に、在庫を3分の1に減少させたこと、2020年1月～10月の輸出額が昨年同期対比18.4%増加していたことは素晴らしい。同社では1万500人が雇用されているが、急激な人員削減は許されない。人々を路上に捨ててはならない。
- ・市場における高い需要や競争力を維持するため、

高品質を担保していく必要がある。機械製造業は我が国の顔である。

●フレニン国防大臣と会談

(11/23 大統領公式ホームページ)

ルカシエンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・貴大臣就任以降、我々は非常に深刻な段階を歩んできた。我々は一部部隊を動員し、危険な地域へ派兵した。予備部隊への異動、緊急招集等を経て、我が軍はどのような状態であろうか。

・我が国を単に揺るがすのではなく、ひっくりかえそうと破壊工作する者がいる。欠陥の一つとして、祖国愛の欠如を挙げることができる。特に、まだ兵役を経ない若者は祖国愛が足りていない。だからこそ、祖国愛教育には大きな伸びしろがある。

・世界は狂ってしまった。昨今、緊迫した場面がますます増えており、平和維持活動の需要はますます高まっている。

【外交】

●国連人権理事会の普遍的・定期的レビュー(URP)第3ラウンドの結果、ベラルーシに対し、266の勧告が提示された

(11/17 ベラパン通信)

●ベラルーシ外務省、EU 及びカナダによる対ベラルーシ追加制裁に呼応する形で、対 EU・カナダ制裁対象リストの追加を公表。制裁リスト自体は非公表
(11/17 外務省公式ホームページ)

●在ベラルーシ EU 代表部、英国大使館、スイス大使館、及び米国大使館が、ベラルーシにおける人権状況悪化に関する共同声明を発出

(11/17 ベラパン通信)

●欧州復興開発銀行、ベラルーシの国営セクターに対する資金供与の停止を決定

(11/18 ベラパン通信)

●ナザロフ副首相が、ノヴァク露副首相、オヴェルチュク露副首相と会談、石油産業における二国間協業に関し協議

(11/19 ベラパン通信)

●EU、新たな対ベラルーシ制裁の準備に関し合意
(11/19 ベラパン通信)

●北マケドニア、アイスランド、モンテネグロ、アルバニア、リヒテンシュタイン、ノルウェー及びウクライナが、EU による対ベラルーシ制裁に合流

(11/20 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、ベラルーシによる EU 政府高官に対する制裁リストを拡大すると発表

(11/20 ベラパン通信)

●リトアニア外務省、人権上の特別な理由によりベラルーシ人 653 名へ入国許可を付与したと公表

(11/23 ベラパン通信)

●ベラルーシ外務省、米国政府がオープンスカイズ条約脱退の見直しを早期に実施することを期待すると公表

(11/23 ベラパン通信)

【経済】

●2020年1月～9月、ベラルーシ国内赤字企業数、去年同期対比約35%増加

(11/17 国家統計委員局)

●2020年1月～9月、ベラルーシ国内企業純利益高、去年同期対比約68%減少

(11/17 国家統計局)

●2020年1月～10月、ベラルーシ国内貨物取扱高、去年同期対比 7.5%減少

(11/17 国家統計局)

●国際格付機関 Fitch、ベラルーシの GDP 成長率を 2020 年－2.1%、2021 年＋0.7%と予測。

(11/17 ベラパン通信)

●2020 年 1 月～10 月、ベラルーシ農業製品生産高、昨年同期対比 4.6%増加。

(11/18 ベラパン通信)

●中国・ベラルーシ共同産業特区入居企業の売上高は 3.4%に拡大、一方、純損失は 5 倍に拡大。

(11/18 ベラパン通信)

●11 月 8 日以降一時停止していたオストロヴェツ原発第一エネルギーブロック、再稼働開始。

(11/19 ベラパン通信)

●国際格付機関 Fitch、ベラルーシの 5 銀行(ベラルーシ銀行、ベラルーシ投資銀行、ベラルーシ開発銀行、ベラルーシズベルバンク、対外経済銀行)の格付けを「安定的」から「ネガティブ」へ改悪。

(11/18 ベラパン通信)

●2020 年 1 月～10 月、住宅建設量、昨年同期対比 7%増加。

(11/20 ベラパン通信)

【内政】

●内務省、テレグラム・チャンネル「白い服」の管理人を拘束

(11/19 ベラパン通信)

●内務省、22 日の大規模集会にて 345 名を拘束したと公表

(11/23 ベラパン通信)

●ピニエヴィチ保健省次官、マスク着用義務は、新型コロナウイルス感染数の低下、あるいは、同ウィルスによる疫病の終結まで継続される、と公表

(11/23 ベラパン通信)

【抗議勢力側の動き】

●チハノフスカヤ元候補、ロベーン・スウェーデン首相、リンデ・スウェーデン外務大臣、及び下院議長や国会議員と会談

(11/17、11/18 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ルッテ・オランダ首相と会談

(11/19 ベラパン通信)

●治安部隊の暴行により死亡したとされるボンダレンコ氏への告別のため、数千名が参列

(11/20 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ブロック・オランダ外務大臣と会談し、ベラルーシ政権の国際犯罪捜査とベラルーシ警察特別部隊、内務省対組織犯罪汚職管理局の国際テロ組織認定開始に関し協議

(11/20 ベラパン通信)

●ドイツにて治療中のアレクシエーヴィチ調整評議会幹部会メンバー(ノーベル文学賞作家)は、ルカシェンコが政権にいる限り、ベラルーシに戻ることはないと言

(11/21 ベラパン通信)

(了)